

\*あの作品をもう一度！

## 第21回市展作品を YouTubeで公開します

今回出展された作品をスマートフォンやパソコンを使って、もう一度どこでも見られるようにYouTubeで公開いたします。

公開時期は11月上旬を予定しています。

なお、前回出展作品をYouTubeで公開しておりますので、ぜひご覧ください。

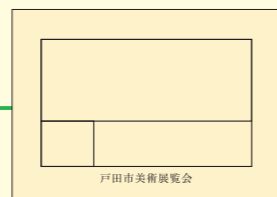


前回作品はこちら

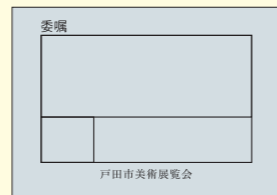
### 委嘱者とは？

委嘱者とは主に、市展の「市長賞・市議会議長賞・市教育委員会教育長賞」のいずれかを3度受賞した方です。一般出展者と委嘱者の作品は、作品近くに貼られているキャプション※の色で見分けることができます。ぜひご注目ください。

※キャプション：作品や作者名が記載されている用紙



一般用キャプション  
【黄色】



委嘱者用キャプション  
【灰色】

◆会期：令和5年10月1日(日)～10月8日(日)

午前10時～午後5時

※最終日(10月8日)は午後3時までとなります。

◆会場：戸田市文化会館

〈2階 展示室〉日本画・洋画

〈3階 会議室各室〉彫刻・工芸・書・写真



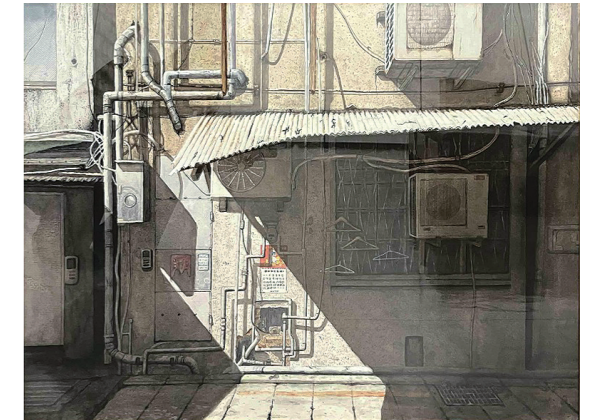
- 主催：戸田市・戸田市美術展覧会実行委員会
- 後援：戸田市教育委員会・戸田市文化協会・NHKさいたま放送局
- 協賛：朝日新聞さいたま総局・埼玉新聞社・テレビ埼玉・毎日新聞さいたま支局・読売新聞さいたま支局

# 第21回 戸田市美術展覧会目録

## 戸田市長賞(最優秀賞)受賞作品



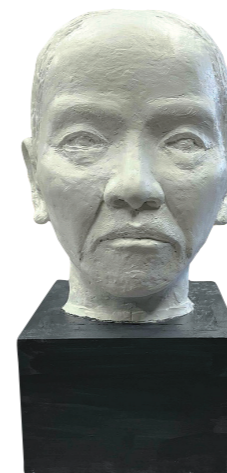
日本画部門「土曜日の片瀬海岸」中村修子



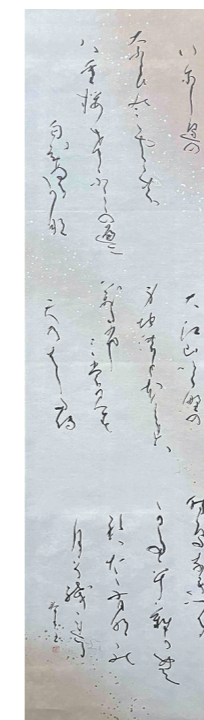
洋画部門「過ぎゆく日々」吉澤敏章



工芸部門「壺」齊藤賢司



彫刻部門「自刻像」岡本輝美



書部門「百人一首憶懐」大澤春香



写真部門「峠より初秋の里山を望む」堀田利雄

主催：戸田市・戸田市美術展覧会実行委員会

## 第一部 日本画

### 〈講評〉

今回は一般の方の出展数が少し増え、どの作品も情感がこもり、出展者の意欲と努力を感じます。出来ればもう少し若い方の出展が増えることを期待します。

**戸市長賞**
「土曜日の片瀬海岸」中村 修子
波の多彩な色合いがすばらしいですね。浜辺で遊んでいる人達、そしてそれを見守るように夏の富士山の姿。それぞれの位置が決まっいて、見る人もそこに居るようです。

**戸市議会議長賞**
「O・HA・YO」宇田川 保
朝起きて、凜と咲いているゆりの花におはようと優しく声をかけている作者の姿が見えるようです。空間にゆとりがあり、全体にしっとりとしているのが伝わってきます。すなおで魅力的な作品だと思います。

**毎日新聞さいたま支局賞**
「ストレリチア」椎橋 三枝子
がんばってバックの銀箔に挑戦しましたね。花と良く合っています。南国に咲くストレリチアは、もう少し大きくダイナミックに描かれたら、もっと良かったかもしれません。

**奨励賞**
「黒蝶ダリア」阿部 恵子
ダリアの花の黒が生き生きとして、吾亦紅の配置もなかなか良いと思います。葉の観察がもう少し必要です。バックの色使いはよく工夫されています。印象に残る作品です。

「放課後の練習」原田 友紀子
ういういしい少女の一生懸命さが伝わってきます。まっすぐな眼差しが良いですね。窓外のバラはもう少しうすくして、お顔を際立たせるとさらに良かったと思いました。

●**審査員**：吉田喜代美
嵯峨美保子

賞	No.	作品名	氏名
	1	夢の中へ	浅 香 裕 美
<b>奨励賞</b>	2	黒蝶ダリア	阿 部 恵 子
<b>戸田市議会議長賞</b>	3	O・HA・YO	宇田川 保
<b>毎日新聞さいたま支局賞</b>	4	ストレリチア	椎 橋 三枝子
	5	城の春	清 水 修
	6	まほろばの里	清 水 修
	7	アオサギトハナビラ	白 井 小 治
	8	ダイジョウブ、ダヨ!	関 戸 則 子
	9	おいしい柿の実	内 藤 カツ子
<b>戸市長賞</b>	10	土曜日の片瀬海岸	中 村 修 子
	11	パパのモンクストラップ	土 部 歩
<b>奨励賞</b>	12	放課後の練習	原 田 友紀子
	13	心の深層華	藤 井 抄由里
	14	青空に咲く八重の桜	堀 田 禮 子
	15	ネイティブフラワー「リュウカデンドロン/サファリサンセット」	若 山 奈保子

〈 <b>委嘱</b> 〉	16	女瀧	井 上 ヨン子
〈 <b>委嘱</b> 〉	17	晩秋	島 作 玲 子
〈 <b>委嘱</b> 〉	18	6月代々木八幡で	芹 沢 美恵子
〈 <b>委嘱</b> 〉	19	思い出の桜	原 口 俊 江
〈 <b>招待</b> 〉	20	花に酔う	池 田 睦 月
〈 <b>審査</b> 〉	21	かぶとがに	吉 田 喜代美
〈 <b>審査</b> 〉	22	なごみ	嵯 峨 美保子

### 第六部

## 写真

### 〈講評〉

今年の一般出展数は、残念ながら前回より約2割減の30点に留まりはしたが、作品はヒューマンライフからネイチャーまで幅広いジャンルが集まり、それぞれの作者の意欲や思いを感じられた。さて昨今では、デジタル写真全盛期のなかにあって、若者が「エモい」とインスタントカメラ（撮ったらその場でプリント）人気が再燃とのことだ。フィルムカメラ、特に使い捨てカメラも静かなブームとなっている。時代は今、Z世代を中心にアナログ回帰なのだ。その背景には写真の「多角化」と「こだわり」があるようで、フィルムの持つ独特の味わいやレトロ感も新しい感覚として受け入れられている。市展もそんな若者たちの斬新な作品が出展されることを大いに望むところである。

**戸市長賞**
「峠より初秋の里山を望む」堀田 利雄
青空の里村に朝霧が出て、池、田の水が白く素晴らしい光景を表現され、自然の美しさを感じられます。

**戸市議会議長賞**
「醇美」村越 紘代
桜の花が咲き、春のひとつきを女性の表情がさりげなく感じられ、絵画的な表現となりすばらしいです。

**戸市教育委員会教育長賞**
「久しぶりの高揚」田中 俊平
水掛け祭りのクライマックス。霧の中にみこしを担ぐ人や、取り巻く人々の笑顔が6年ぶりの祭りの喜びを印象的に語っている。霧の中に関わらず、表情がひとりひとりの確に表現されて、カメラワークの確かさを思わせる。

**戸市文化協会会長賞**
「金波を漕ぐ」柴田 宏
黄金色に染まった川面に、波紋を描くボートの動きが美しい。右下の写真の、他の3枚の写真と異なる深紫色とボートの強いシルエットが、組写真全体に強いインパクトを与えている。

**テレビ埼玉賞**
「雨の日も楽しいね。」牧野 直子
家族旅行でのワンシーンでしょうか。タイトル通り、雨天の日であっても楽しいひとときが伝わってきます。

●**審査員**：深井 勝己
古怒田 潔
小河 美弘

賞	No.	作品名	氏名
	1	一步一步…山スキーは楽し	青 島 誠
<b>奨励賞</b>	2	桜(はな)は人に引き寄せられ、人は桜(はな)に引き寄せられ、	赤 坂 祐 一
	3	妖艶な空、赤い富士	赤 坂 祐 一
	4	銀世界に包まれて	岩 元 元 子
	5	小さなお堂	岩 元 元 子
<b>奨励賞</b>	6	枯蓮の住人	遠 藤 歩
	7	やさしい朝の沼辺	岡 田 朗
	8	霧の香	齋 藤 欣 子
	9	彩り	佐々木 佳 雄
<b>戸市文化協会会長賞</b>	10	金波を漕ぐ	柴 田 宏
<b>奨励賞</b>	11	静寂	鈴 木 君 子
	12	門出～新曾氷川神社にて～	武 田 靖 子
<b>戸市教育委員会教育長賞</b>	13	久しぶりの高揚	田 中 俊 平
	14	朧げなる秋景色	直 江 茂 雄
	15	旅は心のサブリ	直 江 茂 雄
	16	まつり復活だ!	中 島 和 之
	17	粋な街でござるよ	中 島 和 之
	18	床に映える秋	浪 江 立 夫
<b>奨励賞</b>	19	桜のアーチ	二 村 大 輔
	20	全力で楽しもう!	長谷川 三 郎
	21	一瞬の沈黙	長谷川 三 郎
	22	ギャラリー・サンチュベール	冬 室 眞奈美
	23	flower time	冬 室 眞奈美
	24	ホテル コンセルバトリウム	冬 室 昌 宏
	25	朝陽に染まる宝永火口	堀 田 利 雄
<b>戸市長賞</b>	26	峠より初秋の里山を望む	堀 田 利 雄
<b>テレビ埼玉賞</b>	27	雨の日も楽しいね。	牧 野 直 子
<b>戸市議会議長賞</b>	28	醇美	村 越 紘 代
	29	夕づつを見て	和 田 信 二
	30	天球の夕日	和 田 信 二
〈 <b>委嘱</b> 〉	31	帰り道	生 田 孝 二
〈 <b>委嘱</b> 〉	32	雨上がり	石 井 マ サ
〈 <b>委嘱</b> 〉	33	雪の朝	奥 墨 幹 男
〈 <b>委嘱</b> 〉	34	秘境	熊 木 秀 夫
〈 <b>委嘱</b> 〉	35	静寂の刻	佐 藤 佳 子
〈 <b>委嘱</b> 〉	36	モトクロス	林 俊 雄
〈 <b>審査</b> 〉	37	散歩道	深 井 勝 己
〈 <b>審査</b> 〉	38	下町に生きる	古怒田 潔
〈 <b>審査</b> 〉	39	洪水から命を守る巨大地下神殿	小 河 美 弘

## 第五部

# 書

### 〈講評〉

作品内容は、漢字、かな、詩文書と多種にわたり、丹精のこもった力強い作品が多く見受けられ、充実した展覧会になりました。出展者の日頃の努力のたまものと思えます。

**戸田市長賞**  
「百人一首 憧憬」大澤 春香  
和歌三種をちらし書きにし、古筆に立脚した伝統を思わせる作品となりました。用紙と墨色がよくマッチし、流れのよい作品です。

**戸田市議会議長賞**  
「白鳥は哀しからずや」長谷川 秀麗  
この詩を詠んだ牧水の気持ちが表現できたように思われます。墨色も良いですね。

**戸田市教育委員会教育長賞**  
「子育て四訓」牛之濱 聡苑  
白と黒とのバランス、全体の余白のよい作。日頃の努力のあとが窺える充実作です。

**戸田市文化協会会長賞**  
「源兼昌のうた」武田 青楓  
墨色冴え、全体の流れよく、上品な作品となりました。

**埼玉新聞社賞**  
「雨」赤坂 知心  
気持ちよく筆が動いており、流れがあり、行間の白もきれいです。

**委嘱特別賞**  
「五感（自作）」平山 美影  
静かな秋の夜の気配を一人満喫する詩情表出が見事で、それぞれの文字表情が心地好い。墨色も効果的で、読める書ならではの現代書としての魅力が十分に描写されている。

●**審査員**：小田川大岳  
駒崎 流芳  
榎本 浩月

## (五十音順)

賞	No.	作品名	氏名
---	-----	-----	----

<b>埼玉新聞社賞</b>	1	雨	赤坂 知心
	2	無為自然	新井 真吾
	3	水原秋桜子 句	伊井 香瑠
	4	中山王馨方壺	岩田 成仙
<b>戸田市教育委員会教育長賞</b>	5	子育て四訓	牛之濱 聡苑
<b>奨励賞</b>	6	高浜虚子句	内田 比呂美
	7	山頭火のコトバ	梅原 弘洞
<b>戸田市長賞</b>	8	百人一首 憧憬	大澤 春香
<b>奨励賞</b>	9	星めぐりの歌	金子 江利
	10	菜の花の	柴田 美翔
<b>戸田市文化協会会長賞</b>	11	源兼昌のうた	武田 青楓
	12	高桑蘭更句	富田 和心
	13	呉熙載集臨書	中西 絢香
	14	源経信のうた	長谷川 輝鳳
<b>戸田市議会議長賞</b>	15	白鳥は哀しからずや	長谷川 秀麗
<b>奨励賞</b>	16	良寛の和歌一首	春山 嘉正
	17	写経 般若心経	春山 嘉正
<b>奨励賞</b>	18	七言句	平塚 玉節
	19	史晨碑臨書	山口 波那
<b>〈委嘱〉</b>	21	兔が来い	吉田 游華
<b>〈委嘱〉</b>	22	四言句	大澤 京華
<b>〈委嘱〉</b>	23	松風	奥 墨千里
<b>〈委嘱〉</b>	24	良寛禅師詩	駒崎 陽子
<b>〈委嘱〉</b>	25	櫓權舟	竹内 桐峯
<b>〈委嘱〉</b>	26	花	田村 芳春
<b>〈委嘱〉</b>	27	蝶	栃木 誨元
<b>〈委嘱〉</b>	28	白楽天詩	富塚 紅華
<b>〈委嘱〉</b>	29	山頭火の句	長岐 令遥
<b>委嘱特別賞</b>	〈委嘱〉	30 五感（自作）	萩原 美風
	〈招待〉	31 すこやかに	平山 美影
	〈審査〉	32 「咲く心」八木重吉の詩	中村 雲龍
	〈審査〉	33 七言句	小田川 大岳
	〈審査〉	34 孔子の言葉	駒崎 流芳
			榎本 浩月

## 第二部

# 洋画

### 〈講評〉

昨年の応募数より3点少なく、また、作品号数も全体的に小形してきて、昨年の審査より活気がない感じがした。しかし、その中でも、今回選択された受賞者の作品は個々の個性が十分に発揮された秀作に思えた。今後の更なる発展に期待したい。

**戸田市長賞**  
「過ぎゆく日々」吉澤 敏章  
昨年も市長賞を受賞し、2年連続受賞の吉澤さんの作品だが、光と影を画面に大胆に配してバランスよい構成を作り出している。色彩はやや地味だが、画面の透明感が美しく、細部までゆきとどいた制作をしている。

**戸田市議会議長賞**  
「太陽と月、そして音たち」中川 透  
楽しい遊園地を描いた作品だが、表現素材を色々活用して描いて、生き生きとした夢がある画面を創り出している点に好感が持てる。

**戸田市教育委員会教育長賞**  
「漣」相見 和子  
水面のゆらぎをモチーフに形のないものを真正面からとらえた作品で、作者の新しい挑戦が感じられる。俯瞰した画面作りがモチーフを効果的に表現している。水面下の鯉なのだろうか、もう少し具体的に描けていたらもっと良い作品になったのではと思う。

**戸田市文化協会会長賞**  
「爪木崎の夕日」山下 和明  
夕景の空、海、海岸に広がる水仙花、春の静かな風景を描いた作品で、良く画面をまとめている。色彩も美しく、画面に濁りがなく広がりを創り出している。遠景、中景、近景にもう少し強弱を考えて描いたら、良い作品になったのでは。

**読売新聞さいたま支局賞**  
「雨に煙る街」立花 奈美江  
雨の町を描いた風景の表現だが、遠景のスカイツリーなのだろうか？遠景にやや見えにくいのが、雨の町の雰囲気 が良く描かれている。画面の濁りが気にはなるが、力作である。

**委嘱特別賞**  
「クリスマスの後」鈴木 豊子  
冬のヨーロッパの風景を描いた作品だが、田園の静かな雰囲気を描き出している。寒々とした空気感や家屋の質感や重量感がすなおに表現され、美しい作品に仕上げられている。

**奨励賞**  
5人の方の奨励賞の作品ですが、他の賞に劣らない作品で評価に苦慮いたしました。これからもう一步前進するには、自分の描くテーマをあたため、こだわりを持って描いていっていただくことを望みます。受賞おめでとうございます。

●**審査員**：庄司 剛  
西山 立夫  
宍戸 幸子

## (五十音順)

賞	No.	作品名	氏名
---	-----	-----	----

<b>戸田市教育委員会教育長賞</b>	1	漣	相見 和子
	2	還ろう	青野 帆乃佳
<b>奨励賞</b>	3	春らんまん	阿部 恵美子
	4	ホテルテラスからの眺め～沖縄～ view from the Hotel terrace in OKINAWA	池尻 松美
<b>奨励賞</b>	5	廃屋の末路 Part2	岩崎 稔
	6	情熱のアンダルシア	小河 美弘
<b>奨励賞</b>	7	白杵の磨崖仏	片岡 節子
	8	4月 行くぞ！	草薨 徳子
	9	新潟県 大源太山	栗原 貞男
	10	卓上のものたち	小池 都喜子
	11	蒼穹のぼたん	佐藤 優子
	12	海（堂ヶ島）	悉知 ひろみ
<b>奨励賞</b>	13	けあらし	篠原 みゆき
	14	棚田の夕暮れ	志村 和恵
	15	美瑛の夏	鈴木 真記
<b>奨励賞</b>	16	夏の荒川土手	高島 裕子
<b>読売新聞さいたま支局賞</b>	17	雨に煙る街	立花 奈美江
	18	初秋	綱島 文子
	19	オープンカレッジの秋	田 かなえ
	20	朱鷺（トキ）	堂前 八千代
<b>戸田市議会議長賞</b>	21	太陽と月、そして音たち	中川 透
	22	運河のある街	中村 和子
	23	アンデルセン公園にて	西村 安美
	24	大藤	野島 孝子
	25	ともだち	箱森 麻未
	26	つれづれ散歩道	長谷川 昇
	27	溪流	原田 厚子
	28	楽器とヤシの実	峰岸 幸江
	29	水辺の団欒	宮崎 仁美
	30	ひまわり	矢内 由香
<b>戸田市文化協会会長賞</b>	31	爪木崎の夕日	山下 和明
	32	風景	山田 ノリ子
	33	Open Up!	山根 淳一
<b>戸田市長賞</b>	34	過ぎゆく日々	吉澤 敏章
	35	雪山に魅せられて	吉野 武
<b>〈委嘱〉</b>	36	小川の冬	新井 利治
<b>〈委嘱〉</b>	37	秋ヶ瀬・晩夏	今井 國雄
<b>〈委嘱〉</b>	38	物語を旅する黒猫	榎本 朋恵
<b>〈委嘱〉</b>	39	星空の祈り（大船観音）	齋藤 寛丸
<b>〈委嘱〉</b>	40	小春日和	下館 政子
<b>委嘱特別賞</b>	〈委嘱〉	41 クリスマスの後	鈴木 豊子
	〈委嘱〉	42 仲良く水中遊泳	竹内 愷

(五十音順)

賞	No.	作品名	氏名
戸田市議会議長賞	1	連続蜘蛛の巣編み盛籠「精霊馬」	浅倉 梢
奨励賞	2	ハーダンガーのテーブルクロス	荒木 ケイ子
	3	森林鉄道	市川 正志
戸田市文化協会会長賞	4	茜空（額）	植野 芳江
	5	カエルのファミリー	内野 イマ
	6	七宝焼 飾り皿「涼」	江口 とみ子
	7	庭白椿	江崎 恭子
	8	カジカ釣竿（自家栽培竹）	岡田 柳剛
	9	江戸川ボート用ハゼ釣り竿（自家栽培竹）	岡田 柳剛
	10	薔薇の詩	小川 孝子
戸田市長賞	11	壺	齊藤 賢司
	12	茶碗	齊藤 賢司
	13	骸	齊藤 宏
	14	円	篠 留理子
奨励賞	15	朴葉	篠 留理子
	16	白釉曲線文花器	杉浦 薫
奨励賞	17	灰釉叩き文壺	杉浦 薫
戸田市教育委員会教育長賞	18	灰釉うさぎ文花器	鈴木 豊子
朝日新聞さいたま総局賞	19	家飲み	田部井 政子
	20	邂逅	萩原 雄一
奨励賞	21	悠然（塩釉窯焼）	朴 貞姫
	22	帰郷	原口 伸明
	23	波	広田 雄次
奨励賞	24	愛おいしい	広田 雄次
	25	七宝額「夕映え」	北條 美智子
	26	おしゃれな花瓶に魅せられて。	星野 幸子
	27	夢の中	宮園 秩子
	28	花火	渡邊 智香子
〈委嘱〉	29	壺	磯部 郁子
〈委嘱〉	30	菩提寺の山法師	上野 眞喜子
委嘱特別賞	〈委嘱〉31	ミヤマカワトンボ群れる	片岡 弘造
〈委嘱〉	32	染付絵皿	桂井 鈴枝
〈委嘱〉	33	白糸の音色	竹下 よし子
〈招待〉	34	染め帯 糊纈水草	西 耕三郎
〈審査〉	35	花器	平川 清一
〈審査〉	36	額「カづよく」	石橋 信子
〈審査〉	37	新月の頃	安藤 タヅ子

## 第四部

## 工芸

### 〈講評〉

記録的な夏の暑さに、作品の搬入数、また、完成度はいかばかりかと危惧しましたが、余計な心配でした。心を込めた完成度の高い作品が集まりました。素晴らしいことです。来年の市展が更に楽しみです。皆様の精進、ご活躍を心より期待しております。

**戸田市長賞**
「壺」齊藤 賢司
薪窯による自然釉がたっぷり掛かった力強い作品です。まさしく、人による造形と火との合作となりました。

**戸田市議会議長賞**
「連続蜘蛛の巣編み盛籠」浅倉 梢
蜘蛛の巣の様な形の連続の編みで、馬の鞍の様な動きの造形を軽やかに仕上げているのは見事です。

**戸田市教育委員会教育長賞**
「灰釉うさぎ文花器」鈴木 豊子
筒形の花器に掛けられた灰釉が、素地、色の月や兎たちと調和し、素朴な風合いを醸しています。

**戸田市文化協会会長賞**
「茜空(額)」植野 芳江
立ち並ぶビル群の間から茜の空が視界に入ってきます。ホッとするひとときを味わい、癒されます。

**朝日新聞さいたま総局賞**
「家飲み」田部井 政子
細やかな日常生活をあたたかい視点でとらえて、作者本人がとても楽しみながら制作している情景が作品を通して伝わってきます。

**委嘱特別賞**
「ミヤマカワトンボ群れる」片岡 弘造
竹と木を素材に「やじろべえ」の原理で多数の竹とんぼを作製し、構成した力作です。風にそよぐ風情は、思わず「夕やけ、こやけの…」を連想します。

**奨励賞**
「朴葉」篠 留理子
朴葉皿の上のワラや木の葉、耐火粘土が窯の中でおもしろい変化を見せています。「灰釉叩き文壺」杉浦 薫
二作品共に、小品ながら、それぞれに美しい作品です。

「ハーダンガーのテーブルクロス」荒木 ケイ子
細やかな仕事を丁寧にやっている努力を感じます。

「愛おいしい」広田 雄次
焼鏝を繊細に駆使し、愛犬をとらえています。

「悠然（塩釉窯焼）」朴 貞姫
塩釉窯で焼成された大作です。

●審査員：平川 清一
石橋 信子
安藤タヅ子

賞	No.	作品名	氏名
〈委嘱〉	43	夢	永江 咲紀子
〈委嘱〉	44	円い輪	野口 静子
〈委嘱〉	45	水の行方 VII	冬室 昌宏
〈委嘱〉	46	シャコバサボテン	吉田 教治
〈招待〉	47	遠い記憶	高橋 シュウ
〈招待〉	48	溪流の奥入瀬	渡辺 保男
〈審査〉	49	甦る大地～日の出	庄司 剛
〈審査〉	50	もう永久に列車は来ない	西山 立夫
〈審査〉	51	卓上	宍戸 幸子

(五十音順)

賞	No.	作品名	氏名
戸田市教育委員会教育長賞	1	家族の愛犬 ペルー	内野 イマ
NHKさいたま放送局賞	2	かえるの散歩	大熊 興一
戸田市長賞	3	自刻像	岡本 輝美
戸田市議会議長賞	4	ワ～イ！おまつりだ～！	佐藤 慶江
戸田市文化協会会長賞	5	金剛力士 阿形・吽形	坪井 正則
奨励賞	6	わたしパートⅢ あっぷっぷ	永井 栄子
奨励賞	7	孫 たーちゃん	平井 直子
奨励賞	8	廃虚の蛙	留川 明
委嘱特別賞	〈委嘱〉9	K君	川口 忠恭
〈委嘱〉	10	Open Up! II	山根 淳一
〈審査〉	11	楯円球への想	本田 貴侶
〈審査〉	12	春眠	森本 昭宏

## 第三部

## 彫刻

### 〈講評〉

**戸田市長賞**
「自刻像」岡本 輝美
自刻像としては、正面から形をとらえ、各部分の①寸法、②比例も正確で、写実のリアリティが見事に表現されている。具象彫刻として頗るレベルの高い名作となった。

**戸田市議会議長賞**
「ワ～イ！おまつりだ～！」佐藤 慶江
塑像の有機的な表現、量感など優れた表現ができた名作である。

**戸田市教育員会教育長賞**
「家族の愛犬 ペルー」内野 イマ
家族の愛犬の存在の大きさ、あたたかさが伝わってくる作品である。正面、側面、上部から作品を見つめると、雄大なフォルムの変化に見応えを感じる。

**戸田市文化協会会長賞**
「金剛力士 阿形・吽形」坪井 正則
豊かなフォルムと緊張感が感じられる。阿形・吽形像である。丁寧に時間をかけて仕上げられている。

**NHKさいたま放送局賞**
「かえるの散歩」大熊 興一
木彫をしてのオブジェ的な良さに、樹脂で蓮とかえるを組み合わせ、楽しい作品となった。

**委嘱特別賞**
「K君」川口 忠恭
帽子とメガネは造りにくいが、良くまとめて表現できている。笑顔がとてもすばらしく、表現力のある作品である。

●審査員：本田 貴侶
森本 昭宏